

令和6年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	540	多様な主体が参加する区政のしくみをつくる
施策	541	情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する
施策の目標	区民やすみだに関わる人に、まちへの愛着が育まれ、すみだでの暮らしや活動に誇りを持っています。さらに、多様な主体が互いにつながりを深めて、共に取り組む地域力を活かしたシティプロモーションを推進して、「すみだの夢」実現に取り組んでいます。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「自分にとって必要な区の情報が入手できている」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					60					70
実績	52.9				53.3					

指 標 名	墨田区のホームページ訪問者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					20,000,000					22,000,000
実績	15,904,068				35,000,000					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
ホームページや広報紙、フェイスブックなど、様々な媒体を活用した相互情報発信をはじめ、友好交流都市との交流事業を通じて、住民同士の交流が図られています。	R3	5,971
	R4	5,443
	R5	2,571

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	これまで行ってきた交流実績を基礎として、引き続き連携を強化していく必要があるため。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
交流都市である3自治体との連携事業を継続的に展開する。また「関係人口創出プロジェクト」の取組実績を活かし、今後は北海道十勝地域西部4町(芽室町・鹿追町・新得町・清水町)との交流を深めていく。	
【今後の具体的な方針】	
令和5年度から再開した対面方式の交流事業は、友好都市と協議の上更なる有益な実施方法を検討していく。また、十勝西部4町との交流も十分な調整を行った上で進めていく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	国内都市との交流促進	2,571	6,810	9,381	55	改善・見直しのうえ継続
					48	令和5年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

施 策	541	情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する				部内優先順位
事 業 名	国内都市との交流推進					1
目 的	友好交流締結都市を初めとする国内都市との交流を推進することで、区民に様々な体験をする機会を提供するとともに、防災協定、広報協定など、様々な分野での協力関係が構築されている。また、特別区長会が推進する「特別区全国連携プロジェクト」において都市と地方の双方が共存共栄する新たな関係づくりが構築されている。					主管課・係（担当）
						文化芸術振興課 都市交流・国際担当
						03-5608-1459
対 象 者	各友好都市の自治体 各友好都市の区民・町民・市民等 北海道十勝地域(西部4町)と台東区及び墨田区の住民					
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区都市交流推進委員会設置要綱、地域再生計画、墨田区総合戦略					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2	
事 業 内 容	【事業概要】 友好交流締結都市を初めとする国内都市との交流事業の実施 1 国内友好都市交流事業（交流会・物産展）の実施……長野県小布施町・山形県鶴岡市・栃木県鹿沼市と墨田区民の交流会・地元の名産品などの販売（～R1まで：すみだまち処でパネル展・物産展 R2・R3：アトリウム（パネル展） R4：オンライン（交流会） R5：リバーサイドホールミニシアター及び隅田公園 2 長野県小布施町と墨田区民との交流事業の実施。（都市農村交流）【春季1回・秋季1回】 3 長野県小布施町の栗ガ丘小学校6年生の体験学習 4 長野県小布施町で行われる、「六斎市」に「墨田区伝統工芸保存会」が出席し地元町民との交流と伝統工芸のPR活動 （令和2～4年度）特別区全国連携プロジェクトにより、地域再生を図るための事業を実施 ・江戸の伝統を活かした十勝産品による新しい食文化の創出事業（たいとう・すみだ・十勝ウィーク、たいとう・すみだ特産品づくり） ・十勝・東京スポーツ・アウトドア交流拡大事業（モニタリングツアー） ・北海道十勝地域と東京たいとう・すみだ戦略的交流事業（交流委員会の設置・運営、交流戦略決定、新規事業の検討等） 令和5年度は、十勝地域西部4町（芽室町・鹿追町・新得町・清水町）と交流事業実施（パネル展、物産展、エソ鹿革のワークショップ） （令和4年度） ・「子育て世帯生活支援追加支援事業」として友好都市である栃木県鹿沼市産のお米を、子育て世帯に対し子ども一人につき10キロ配布 （令和5年度） ・鹿沼市にある川上澄生美術館木版画大賞の東京展を共催で、すみだリバーサイドホールギャラリーで実施。					
経 過	開始年度	平成4年			終了予定	
	【長野県小布施町】平成5年3月、葛飾北斎に関する3つの自治体又は美術館（墨田区・小布施町・津和野町）で構成する北斎三館協議会が設立されたことをきっかけに墨田区と交流が始まり、平成8年5月1日「墨田区と小布施町との友好協力に関する協定」、平成8年7月22日「防災相互応援協定」締結					
	【山形県鶴岡市（旧・朝日村）】県人会が両国会堂を使用していた縁で、区の子供達の交流を呼びかけ。（墨田区少年団体連合会が窓口）。平成9年7月14日「友好協定」締結					
	【栃木県鹿沼市（旧・栗野町）】昭和53年「あわの自然学園」開設、昭和55年7月15日「友好協力事業協定」締結（栗野町と鹿沼市合併を機に友好協定解消）、平成24年10月13日「友好交流・協力に関する協定」締結					
議 会 質 問 の 状 況	【特別区全国連携プロジェクト】令和元年度 地域再生計画の策定及び認定（3カ年）。令和2年度から令和4年度まで北海道十勝地域（18町村）・台東区と事業実施。令和4年度末に十勝の意向確認、令和5年度は十勝西部4町との交流継続。					
	令和5年（地域産業都市委員会） 特別区全国連携プロジェクトにて、北海道十勝地方と来年度はどのような取組を考えているのか、また、どのような体制で取り組んでいくのか。 （答弁）令和6年度の区の体制は、芽室町との食を通じた交流の窓口は保健計画課、それ以外の範囲に及ぶ場合は、文化芸術振興課が窓口になる。近日中に芽室町と打合せをし、まずは食に関する交流の連絡会を立ち上げることを検討している。					
そ の 他 特 記 事 項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和6年5月（春季）11月（秋季） 長野県小布施町と墨田区民との交流事業の実施（都市農村交流） 春季中止 令和6年10月 北海道十勝地域との交流事業（すみだまつり物産展） 令和6年11月 長野県小布施町の栗ガ丘小学校6年生の体験学習 友好都市交流会及び物産展は、来年度以降にむけて小布施町・鹿沼市・鶴岡市と検討					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		1,148	4,561	6,450	6,146	3,761	1,157
A.決算額（令和6年度は見込み）		806	4,190	5,971	5,443	2,571	1,157
財 源	国	0	1,691	2,553	2,259		
	都	0	0	0			
	その他	0	2,493	3,000	3,000	2,000	0
一般財源		806	6	418	184	571	1,157
執行率（％）		70.2%	91.9%	92.6%	88.6%	68.4%	100.0%
B.人コスト		3,495	7,058	7,037	6,543	6,810	
総事業決算額（A+B）		4,301	11,248	13,008	11,986	9,381	
予算書P（令和6年度）		P121 3-3		執行実績報告書P（令和5年度）		55	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和４年度（決算）			令和５年度（決算）			令和６年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	管内旅費等	45	旅費	管外旅費等	157	旅費	管外旅費等	117
需用費	消耗品費等	78	需用費	消耗品費等	89	需用費	消耗品費等	141
役務費	通信運搬料等	2	役務費	通信運搬料等	2	役務費	通信運搬料等	6
使用料及び賃借料	使用料及び賃借料		委託料	その他	1,217	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	833
負担金補助及び交付金	負担金等	5,319	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	277	負担金補助及び交付金	負担金等	60
			負担金補助及び交付金	負担金等	30			
			負担金補助及び交付金	補助金・交付金	801			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	国内友好都市との交流回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		5	R7	目標	5	5	5	5
				実績	5	5	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	1	1	3	4		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	国内友好都市の交流回数を増やすことより、内容を充実させ、住民同士の交流を実現させることが大切と考える。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	文化・産業・観光課連携自治体累計数				単 位	自治体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		55	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55	55	55	55	55
		実績	40	40	40	48		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区総合戦略で、地方との交流や提携を強化するための重要業績評価指標 (KPI) として目標を示している。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	コロナ禍の影響等により民間交流が縮小傾向である中、区が友好都市との関係性を維持する為に、今後の都市交流のあり方を再検討する必要がある。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、交流事業が徐々に再開される中、各友好都市のPRの場所として「友好都市交流会及び物産展(令和元年度までは「友好都市交流展」)を行ったが、さらに区民が友好都市を知り、交流できる機会とするため、実施場所等、有益な実施方法を検討することが今後の課題である。

補 助 金 名 称	特別区全国連携プロジェクト事業補助金				主管課・係（担当）	
根 拠 法 令					文化芸術振興課 都市交流・国際担当 健康推進課 地域保健担当	
補 助 概 要	特別区全国連携プロジェクト事業にて令和２年度から令和４年度まで地方創生交付金を活用し、連携事業を実施した北海道十勝地域の人や資源との交流を育む事業を、両地域の民間レベルで取り組むことにより、交流が推進される。				03-5608-1459 03-5608-6517	
目 的	特別区長会が推進する「特別区全国連携プロジェクト」において都市と地方の双方が共存共栄する新たな関係づくりが構築されている。					
対 象	連携実績がある食育関連団体					
基 準	区独自基準					
補 助 条 件	以下の要件を満たした団体 ・食育及び食を通じた交流事業について、実績が認められること ・当該地域とのつながり・縁があること ・事業を遂行する能力があると認められること					
経 過	開始年度	令和2年度		終了予定		
	令和元年度 特別区全国連携プロジェクト事業実施に向けたプレ事業実施（保健計画課） 令和２年度 令和元年度に実施したワークショップで提案のあった５つの取り組みアイデアから、４つの企画に整理。「関係人口」「交流人口」を育むモデル事業の企画検討を行った。 令和３年度 墨田区と芽室町が構築してきた関係者の協働により、食を通じて人と人、地域と地域のつながりを育む「子どもワークショップ」を実施した。 令和４年度 墨田区と芽室町の関係者による会議のほか、オンラインを活用した講演会を実施した。 令和５年度 芽室町の関係者訪問（保健計画課） 令和５年度 両自治体の官民によるワークショップを実施した。					
議 会 質 問 の 状 況	令和５年（地域産業都市委員会） 特別区全国連携プロジェクトにて、北海道十勝地方と来年度はどのような取組を考えているのか、また、どのような体制で取り組んでいくのか。 （答弁）令和６年度の区の体制は、芽室町との食を通じた交流の窓口は保健計画課、それ以外の範囲に及ぶ場合は、文化芸術振興課が窓口になる。近日中に芽室町と打合せをし、まずは食に関する交流の連絡会を立ち上げることを検討している。					
そ の 他 特 記 事 項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和６年度 墨田区・北海道芽室町との食を通じた交流事業（予定）					

予算・決算額推移（千円）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
予算額（事業費）		0	801	801	801	801	801
決算額（令和６年度は見込み）		0	801	801	801	801	801
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	801	801	801	801	801
執行率（％）		#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

補 助 金 の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	特別区全国連携プロジェクト事業実績自治体数				単 位	自治体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	特別区全国連携プロジェクト事業実績自治体数				単 位	自治体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1		
		実績	1	1	1	1		
		指標の選定理由及び目標値の理由						
多様な人々(生産者・食育実践者など)の交流を実現させることが大切と考える。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	特別区全国連携プロジェクトの成果を活かし、墨田区と芽室町との都市間交流を「食育」の視点から推進するため、令和6年度からは担当所管課を都市交流部門から食育部門（健康推進課）へ変更する。

課題・問題点
都市交流のあり方を再検討するとともに、今までの実績を今後どのように活かしていくのか、関係部署と調整していく必要がある。